本伝

桃生地区 日高見はねこ会

番統 にの 向踊 りを引 け Ź, 熱 き継 心 に 練 17 習

で

計ざんの指導を受けなが高見はねこ会代表の阿部常二教諭と日同校の阿部栄二教諭と日に学校の体育館に集まり、 毎週火曜日と金曜日の夜 けて練習に励んでいます。 催されるふれあい祭に向 月に桃生植立山公園で開 現在も6年生8人が9

ています あるはねこ踊りを後世にも

ねこ踊りの会です。地元の

小学校の全校児童によるは

日高見はねこ会は、桃生

伝統芸能であるはねこ踊り

差異があったことから、最 統一され、現在の形になり ました。集落単位で振りに ました。 も知名度の高い寺崎の型で

するとき等に踊られてきま

長くつないでいくことは大 誇りを抱いて踊っていくよ 事です。そのためには子ど 続けていきたいです」と話 う、地域に根ざした活動を もたちに親しんでもらい、

123人がメンバーです。学

校の1年生から6年生まで

ら息を合わせて踊りを身

に着けています。

は

ねこ踊りの歴史は古

校での授業や運動会のプロ

ほか、桃生地区芸能祭や「も

グラムに取り入れられている

のうふれあい祭」等で発表し

期に豊かな実りを祝ったり

豊作を願ったり、収穫の時

く、昔から田植えの時期に

れました。今年は桃生小学

会の名前は地域にある日

平成12年に発足しました。 め、地域を活気づけようと、 を通じて、学年間交流を深

やかです。そのため運動量 構成され、民俗芸能として 囃子、馬鹿囃子の3つから 踊りは、打ち囃子、献いばやし ばかばやし がまれる 阿部計さんは「桃生の伝統 認しています。 が多く、毎回練習では子ど は珍しく跳躍調で踊りも華 かのところでも踊られて が発祥の地ですが、このほ ら伝承されてきた振りを確 もたちが額に汗を流しなが た。もともとは永井地区 児童たちの指導にあたる

していました。

▲日高見はねこ会の皆さん



椿は 千葉県千葉市から派遣 和浩さん 33 歳



再開発整備課

中島誠仁さん 千葉県千葉市から派遣 28 歳

生かしていけれ

ば」と話して

いました。

力を、少しでも

まちづくりに できる限り

しいです。私も し、活気あるま

ちに戻ってほ



の復興支援や被災企業の移 ばと派遣を志願しました。 少しでも復興の力になれれ する業務を担当しています。 転先となる産業用地を整備 んは、被災した造船事業者へ 今年4月に着任した椿さ

変わっていく景色の中で、地 美しいと感じます。急速に 田等が調和しており、とても といいます。「北上川を中心 の豊かさ等、唯一無二の良さ 域の皆さんの温かさや自然 としたまちは、海や山や水 景色の美しさと人の温かさ

寄り添う業務で地域をサポ

昨年4月に着 た。飲

石巻市立病院

第19回 「健康寿命」について

石巻市立病院 外科部長 福山 尚治

我が国の平均寿命は男女とも年々長くなっており、世界保健機関 (WHO)が発表した2014年版「世界保健統計」によると、2012年の日本 人の男女合わせた平均寿命は84歳で前年に続き世界最長なりました。男 女別で見ると、日本の女性の平均寿命は87歳で首位、男性は80歳で8位で した。この年齢まで健康で過ごすことが理想ですが、現実的にはここまでに、 病気等何らかの健康上の問題が発生しています。そこで健康寿命という概 念が提唱されたわけですが、簡単に言えば健康上の問題がない状態で日 常生活を送れる期間のことです。平均寿命から健康寿命を引くと男性は約 9年、女性は約12年となるとの統計結果があります。誰もが健康寿命が長 いことを願うわけですが、自立度低下をきっかけに要支援・要介護状態に陥 ります。この自立度低下要因の第1位は「運動器の障害」いわゆる「ロコモ ティブシンドローム(運動器症候群)」です。骨や筋肉は適度な運動で刺激 を与え適切な栄養を摂取することで強く丈夫に維持されますが、弱った骨や 筋肉では、40代・50代で既に身体の衰えを感じやすくなり、60代以降になる と思うように動けない身体になってしまう可能性があります。筋肉、骨と同様 に軟骨や椎間板にも適正な運動負荷が必要です。ただし、過度なスポーツ や過体重によって過負荷状態になると、軟骨や椎間板は逆に傷んでしまうこ とになります。また、やせすぎると筋肉や骨は弱くなってしまいます。適切な運 動管理が健康管理につながり、健康寿命を長くすることになります。いつまで も健やかに過ごすことができるよう、日頃からの心がけが必要です

◇投稿募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとっておきの話しをお寄せください。 テーマ 「ありがとう」

日常の生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話 (エピソード)をお聞かせください。 数 400字以内

投稿方法 住所、氏名、年齢、電話番号を明記し郵送またはEメールで秘書広報課あてにお送りください。 掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨明記してください。 注意事項 公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたもの全てを掲載できるものでは ありません。また、字数等の関係で内容を調整させていただくことがあります。

秘書広報課(内線4023) 〒986-8501(住所不要) 🖂 ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

が出るまちになってほしい

す」と期待します。

▲囃子に合わせて一糸乱れぬ踊りを目指す桃生小学校の6年生たち

多くの派遣職員 かったそうで を地元の方々とうまく連 も味わっていま も訪れて、ホヤ 慣れてきまし さに当初は体調 で、夜の冷え込 す。東北での生 等に関する業 さんは、市街地 ア団体等がいま いった新鮮な魚介類の の交付申請に従 「石巻市には 貝やボランティは震災を機に す。その活力

石巻を訪れて感じたのは

態物の話題



雄勝地区

6月4日(土) 上雄勝二丁目

型域の情報と

震災からの復興状況や教訓を発信する「石巻市復興まちづくり情報交流館 雄勝館」が開館しました。隣接地に移転した仮設商店街のおがつ店こ屋街も同 時にオープンし、テープカットや記念イベントでにぎわいました。いずれも復興 事業が完了するまでの一時的な施設ですが、住民の皆さんの日常生活を支え るとともに観光客へ地域の情報と特産品等の魅力を紹介しています。

桃生地区

6月11日(土)、12日(日) 桃生総合支所西側駐車場

見事に咲き誇る さつき一堂に

今年で37回目となる「さつき盆栽展」には、桃生町さつき愛好会の皆さんが 丹精込めて育てた約100点の見事な花が並びました。盆栽展は、会員の成果発 表の場として毎年開催されています。多くの人たちが足を運び、鮮やかに咲き誇 る花々と枝ぶりをじっくりと見て楽しみました。また会場では、販売コーナーも設 けられ、会員から育て方等の説明を受けて買い求める人の姿もありました。

牡鹿地区

5月5日(木) 牡鹿中学校体育館

県消防操法大会に向け 安全 祈願祭と結団式

7月24日(日)に富谷町総合運動公園で開催される「第49回宮城県消防操法大会」に、石巻地区支部の代表として石巻市消防団牡鹿地区団が出場します。これに向けた安全祈願祭と結団式が行われました。県大会は「小型ポンプ操法の部」と「ポンプ車操法の部」の2種目で操法技術を競い合います。今年は「ポンプ車操法の部」で優勝したチームが長野県で行われる全国大会に出場します。

石巻地区

5月22日 (日) ナン・ファン・バウティスタパーク

開館20周年飾るサン・ファン祭り

サン・ファン・バウティスタの進水日(平成5年5月22日)に合わせて恒例の「サン・ファン祭り」が開かれました。今年はサン・ファン館の開館20周年でもあり、市内外から約1万6千人が訪れました。ステージでは渡波小学校鼓笛隊や万石浦小学校マーチングバンド等14組が演奏や踊りを披露しました。また、前夜祭も盛り上がったほか、ライトアップされた復元船が多くの人を魅了しました。

河北地区

5月13日(金) 亀ヶ森公園

桜を植えて 憩いの空間づくり



石巻地区森林組合と石巻東ロータリークラブの皆さんが、飯野川小学校の4年生30人と一緒に桜の苗木を植えました。相野谷にある亀ヶ森公園は、桜の名所として知られています。しかし、近年は複数の老木が枯れて伐採されたため、市内で植樹活動をしている両団体が児童たちと協力して紅シダレザクラ等10本を植えました。参加した皆さんは美しい花が咲くことを期待していました。

河南地区

5月22日(日) 旭山農業体験実習館コロボックルハウス

大きく。おいしく 買ってね



スクエア子育てひろばの「さつまいも植え会」には、親子約60人が参加しました。いも植えを通して親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちに野菜がどのように育つのかを知ってもらおうと毎年開催されています。この日は親子で協力し合いながら苗を等間隔に植えていき、「おいしく、大きくなってね」と語りながら水を与えていました。育ったいもは10月16日に収穫します。

北上地区

5月7日(土)、8日(日) にっこりサンパーク内クラブハ

かれんな山野草 咲き誇る



北上文化協会山野草愛好会の皆さんが大切に育てている草や花の鉢約200点を持ち寄って展示会を開きました。震災後、愛好会のメンバーは3人と少なくなりましたが、かれんに咲く山野草の魅力を多くの人に知ってもらおうと、毎年春と秋の年2回開催しています。楽しみにしている人も多く、今回も市内外から2日間で125人が訪れ、鉢の中に創られた小さな自然の世界を堪能していました。

石巻地区

5月14日(土) 立町商店街

地域を花で美し

地域を花で飾ろうと、石巻市子どもセンター「らいつ」を利用する小・中・高校生約20人が、立町商店街の歩道にサフィニアマックスのプランター96個を設置しました。花は、らいつを建設し現在も活動支援を続ける企業が提供しました。子どもたちは苗を植えたプランターを協力して各店に届けました。大きく咲いた花は、通りを行く人たちを楽しませています。